



## 草津養護学校ニュース

第39号

児童生徒総数 361名  
びわこ学園部 3名  
小学部 136名  
中学部 90名  
高等部 132名

発行元:滋賀県立草津養護学校 発行責任者:加来加奈子(PTA会長)

連絡先:草津市笠山八丁目3番111号 TEL:(077)566-0012(代表)

こんにちは!草津養護学校ニュースをご覧頂きありがとうございます。

掲載内容 ●将来に向けての授業! ●聞いて!聞いて!知って!知って! ●署名での報告会

ホームページ [http://www.kusatsu\\_yogo-sh.shiga-ec.ed.jp/](http://www.kusatsu_yogo-sh.shiga-ec.ed.jp/)

パックナンバーも掲載中



## 将来に向けての授業

就労に向けた  
学びって?

集中して  
取り組む  
本物の  
販売体験!  
達成感

ひとりでは  
難しいことも  
友達、先生と一緒に  
できるかな!



たろうくん

マグネット  
1つ  
100えん



## 一歩いっぽ、体験と学びを積み重ね

先生に聞く「授業を通して子どもたちは何を学ぶ?子どもたちの将来に望むことは?」

## 小学校部 小1~小6年生

## 6年間は土台作り!

自信をもち、人を信頼する力を  
育んでほしいです。(小学校部A先生)

日々の活動全般の中で、6年間かけて大切な土台作りをし、「基本的生活習慣の習得」を目標とする。

自立への一歩に繋がる授業としては、学校宿泊学習、近隣のコンビニで買い物、調理実習などの体験を積む。

## 中学校部 児童から生徒に

## 自分なりに考えて…

家庭でもお手伝いできること  
増えてほしいです。(中学校部B先生)

家庭は小さな社会、生活での役目を持ち自信をもって高等部へむかってほしい。【職業・家庭】の教科では実際にお金を使って販売学習(枕、マグネット、手帳など)をする。【社会】の教科では、地域にある喫茶店に行く体験を積む。

## 高等部 いよいよ社会へ飛び立つ前!

## 自分の将来を考える。

学習を通してじっくり考え、自己実現を目指す力をつけていってほしいです。(高等部C先生)



職業教育に関わる教科では、農業(花や野菜の栽培)、メンテナンス(校内外の清掃)、食品加工、喫茶など学ぶ。食品加工では、調理だけではなく、市場調査、製造販売、集客のためのポスター、チラシ作り、売り上げ計算など様々な仕事を学ぶ。



# 「ママ、珈琲いれてあげる！」 授業での社会経験が育ってくれたもの

## ～重度知的障害・自閉症の娘～

草津養護学校での義務教育を経て、高等部一年生になった娘は、簡単な日常会話はできますが、相手と適切な距離や関係をはかることや、読み書き計算などが困難です。「ママ、学校に来たらあかん！」小学部の時は参観を嫌がって大泣き。



自閉症の特性から【お母さんは家にいるもの、学校にはいない】という考えを切り替えるのが大変だったのです。

そんな娘の中学校最後の参観日。コメダ珈琲ならぬ「コメダ珈琲」という模擬喫茶店で参観にきた保護者がお客様でした。

エプロンと帽子をつけ、注文をうけ、スプーンで粉をはかりお湯を注ぎ、トレイにコースターをセットし、カップホルダーにセットした飲料をトレイでお客様のテーブルまで運ぶ。提供後に一礼し「ごゆっくりどうぞ」のご挨拶。

大人にしてみれば難しくもない工程でも、子どもたちには大変なこと。手先が不器用であったり、コーヒーなのにココアを入れようしたり、お湯の分量が難しかったり、コースターを忘れたり、【いつもいない母が教室にいる】ため心が乱れてふざけてしまったり…。でも、クラス7名の生徒全員が珈琲を出し終えて、笑顔いっぱいでした。

後日、自宅で私がパソコンをしていた時のこと。

娘が「ママ、珈琲いれてあげよか？」と電気ポットでお湯をわかし、インスタントコーヒーをいれてお盆にのせて自信満々に運んできてくれました。「ごゆっくり、どうじょ」と言い去り、台所で皿洗いをする頼もしい娘の姿に成長を感じました。

（高等部生徒 保護者）

## 報告とお願い

草津養護学校は、平成3年(1991年)に103名の児童生徒で開校しましたが、今年度は3倍を超える361名となりました。【2019.5.1.現在】

激増した児童生徒に対して教員の増員は不十分であり、1クラスあたりの児童生徒数が増え、施設面でも校舎増築のためにグラウンドは狭くなり、子どもたちの学習や遊び場所が足りません。下校時は狭い校内に10台のスクールバスが停まり、放課後支援サービスの車が多数出入りする中で、教職員は安全確保のために神経をすりへらしています。こうした現状に『草津養護学校で学ぶ子どもたちの教育条件をよくする会』(保護者の会)では、下記の願いをもって署名活動に取り組んでいます。

- ①児童生徒増への抜本的な対策
- ②教員や学校看護師の増員
- ③医療的ケアが必要なため通学バスに乗れない子も乗れるようにしてほしい
- ④子どもたちの通学手段への公的支援
- ⑤子どもたちの遊び場所や遊具の充実



昨年の第16次署名では皆様のご協力を得て集まった8070筆の署名を教育委員会に提出しました。毎年、署名を継続している成果として、普通教室および特別教室へのエアコン設置や古いトイレの改修が進んでいます。本当にありがとうございました。PTAも『教育条件をよくする会』に協力し取り組みを進めていますので、地域の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

取り組みについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

草津養護学校 PTA庶務担当者 TEL 077-566-0009(小学部直通)



草津養護学校の生徒たちは卒業後、福祉的就労や企業就労、進学、訓練校など様々な進路を選択します。学齢期以降の長い人生のスタートを切るために、将来の自立と社会参加を見通すのに必要な力や学力、技術を在学中に身につけています。その中で滋賀県教育委員会が行っている「しがしごと検定」があり、希望生徒になりますが草津養護学校でも5種目すべてに挑戦しています。検定によっては上位級を取得する生徒も増えています。また検定種目の良さを生かして、授業内容でも参考にして働く上でのルールやマナーにもつながり、より効果的に取り組んでいます。しがしごと検定に協力して頂いている企業では、草津養護学校をはじめとする特別支援学校の卒業生が就労もされており、今後、より多くの地域企業が生徒たちの「強み」や「良さ」を評価して頂けることを願っています。

## しがしごと検定とは？

「しがしごと検定」は、県立特別支援学校高等部(分教室、高等養護学校を含む)の生徒を対象とした技能検定で、平成27年度の試行を経て平成28年度から本格的に実施しています。平成28年度は2回の検定でのべ299名の生徒が受検しました。この検定は、学校が協力企業等と連携して開発した評価基準に基づき実施するもので、運搬陳列、商品加工、清掃メンテナンス、接客、事務補助の5種目があります。検定は年2回実施することとしており、各学校では検定に向けて具体的な目標をもってさまざまな学習に取り組んでいます。検定当日には、その道のプロである協力企業のみなさまから助言をいただけるほか、直接指導を受けることができるスキルアップ授業に参加することで就労に対する意欲や興味・関心をさらに高めます。

### 協力企業一覧

検定種目	協力企業
運搬陳列	株式会社平和堂
商品加工	カルビー・イートーク株式会社
清掃メンテナンス	株式会社ティ・エム・エス
接客	株式会社プリンスホテル (びわ湖大津プリンスホテル)
事務補助	株式会社 SCREEN ビジネスエキスパート

(滋賀県教育委員会HP抜粋)

## 生徒たちの実習先のご紹介をお願いします

進路指導部では、今年度も障害のある生徒たちが、就労体験できる小売業、製造業、サービス業、農業等、いろいろな場を探しています。

明るく元気な高等部の生徒たちに『働く』機会を与えてください。情報提供をお待ちしております。

明るく元気な高等部の生徒たちに『働く』機会を与えてください